

善為

受付

二八日十八時四十分

22

軍 参考 謀長

高城

又電第二三号

論議

休暇軍人同家族ノ本二八日輸送状況

左如シ(高城全)

軍人 七三三 立才以上 一九六二

立才未満 四九五 計 三三三四

病人 二五 内担送 八

0274

28. 15. 15. (50)
28. 16. 25.
(15)
一 82

軍參謀長

日本軍隊方次軍隊輸送概見表

(武富參謀より電語連絡せん也)

註

一、三、大列車一部隊八十一月一日出発

三、四、七列車一部隊八十一月二日出発

五、八列車一部隊八十一月三日出発

二、九、如米力四十師團於了鐵道輸送計畫ヲ

決定セシ付至急各部隊ニ指示セリ及細部ハ書

類ヲ以テ報告ス

通電先大田、京城

嵐山連絡部長

嵐山

0275

至急

29 13 50

29 16 45

(20)

金山

軍 参 謀 長

6458

一、一月二八日乗船セル者左ノ如シ

輸送

興安丸「仙崎向」六四五八名 徳壽丸「博多向」二七五三名

内軍隊 護朝四九二聯隊 八二七名

天子丸「博多向」七九八名 亀島丸「博多向」二六七名

小金丸「博多向」一一二五名 雲せ丸「舞鶴向」一六三四名

計一三〇三五名

二、金山滞留邦人 三〇名

三、参謀長一白六徳壽丸ニテ出發セリ

通電先 大田 京城

博多出張所長

6577

0276

至急

29/17/10

29/17/50

(20)

京城

軍參謀長

久電第一一五號

休暇軍人同家族本二十九日出發状況現在ノ如ク

第一列車一三二。發軍人六九四名六才以上一九五九名

六才未満六二人名計三二一人一名患者二〇名

夕ニ送患者二名 第二列車一六〇名發軍人六六八名

六才以上一七八名六才未満五一九名計二九六七名

患者三三名内夕ニ送一一名

輸送

6/2

0277

至急 30. 16. 20.

軍参謀長

不電予二一九号

休暇軍人同家族ノ本三日輸送状況ヲ如シ

方一列車 一三時十五分發

軍人七五三名 大才以上一六二名

大才未満四一一名 計一五〇名

患者三名 由担送三名

方二列車 十五時發

軍人六〇一名 大才以上一八一三名

大才未満四八八名 計二九〇〇名

患者二名 由担送二名

中

30. 16. 50.

(36)

8R

京城

0278

2録

軍事書庫

急

30日8時

博多

39

茅五郎園巨文島守備隊金ヶ向

引揚中

ツノ島(山口縣豊浦郡) 環着セリ

人名冊等調査中ナルニ 報告ス

出張所

0279

軍令第一一七号 符 (44)

軍令部長

東京

第一組

支那軍第二四五師

南支那軍第五師團

聯合司令部 支那軍 朝鮮軍

12 海軍 輸送ハ船舶輸送力、見地ヨリ 依然

南鮮ヲ使用シ 追ッテ 現地米軍ヨリ

輸送 未ダ中央ニ申請ナキ趣ナリ

(52)

0280

急 10月29日 15時5分 解分 (17) 某組

軍參謀長

博多

濟州島部隊佐世保上陸團の件

二日附之號電報ヲ報告セル濟州島ヨリ佐世保

輸送 上陸セル人員ヲ死記、通り直ス

二

一、同日二九四名(五八軍連終班)電信第〇聯隊、第一
特別勤放隊、六四兵站病院、築作業飛行場大隊、
兵器修理班等ニテ内患者四、死者九、
二、同日九七九七名(第九六師団主力トス)

福岡出張所長

終

0281

普通

三〇日一二時四五分

五時 一六時〇分

(33)

第一組

軍参謀長

釜山

0282

一 一〇月二九日 飛船セルモノ左ノ如シ
 白龍丸 (松多ノ向) 一九二七名
 城崎丸 () 五八五名 計二五二三名
 二 釜山滞留人員九三三三名
 参謀長一行松多ニ上陸后十一時發上京セリ

緊急 29日16時10分

20時0分 第二組

軍參謀長

釜山

米第四師団ニ於テ日本軍第三次軍隊輸送
計畫ヲ左ノ如ク決定セシテ報告ス

一、武高參謀連絡ニ依リ、二列車ノ部隊ハ一列車ニ

依リ、二月一日出發 二日釜山到着ス (三五六三列車)

二、第六列車ノ部隊ハ一列車ニ依リ、二月一日出發 二日

浦遷釜山到着ス (三五〇三列車)

三、第三四列車ノ部隊ハ一列車ニ依リ、二日出發 三日

三日釜山到着ス (三五二六三列車)

四、七列車ノ部隊ハ一列車ニ依リ、二日出發 三日釜山到

0283

着、(三五三列車)

五、第五八列車、部隊ハ一列車、三日去、答、四日

釜山到着又(三五三列車)

六、船舶輸送ハ、部隊釜山到着ト共ニ直ニ乗船セ

云

通電先 太田、京城

殿

0284

至多

軍參謀長

比谷參電第508號

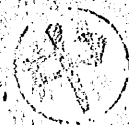
十月二十九日乘船せし人員左ノ如シ

將校 一四五名

下士官 (非士官を含む) 六七七名

兵 四七八二名

計 五六〇四名



斎
州 組

0285

輸送

至急

軍參謀長

二三〇

ク

中

一組

大邱

邦人引上輸送状況左ノ通り報告ス
一、奥地引上邦人ノ軍自動貨車ニ依ル輸送ハ十月二十八日ヲ

以テ終了ス引上者約一三〇人ナリ

二十月二十三日ヨリ二十八日迄ノ計畫輸送ニ依リ大邱

附近ニテ約八〇〇名(三十日約一〇〇名ヲ含む)ヲ輸

送本三十日及十一月一日、三日ニ亘リ尚州、金泉、

安東、慶州、浦項方面ノ邦人ヲ輸送予定ニシテ

本件ニ関シテハ現地米軍ト了解済ナリ

三、残留邦人ハ約二〇〇名ト予想セラルルモ未定ナリ

四、日本人世話会ニ保管シタル引上者ノ荷物及貯金通

帳ニ関シ一層具体的ニ示指テナリ度

大邱連絡班長

0286

軍兵の謀長

光輝先少佐

一、二七日米軍より左ノ指示有りて目下準備中ナリ

二、師管区内駐屯部隊全員(陽行場ヲ入信)急其軍人家族ハ

十月一日光州撤隊ノ事

三、輸送ノ関シテハ米軍兵ヲ處理ス

四、家族ノ携行ノ得ル荷物ハ米軍兵於テ保管ス目下二三部隊兵舎

ニ集結中ナリ

五、本浦、麗水方面ニ同様ニ處置ス

六、本浦ニ於テハ長野モトヨリ少佐、セキオヨシオ大尉外下士官三名邦人

引揚指導ノ為邦人引揚完了ナリ本浦ニ滞在スル事ヲ許可セリ

七、光州ニ於テ米軍兵人員約八百名ナリ

八、有無通信所ハ十月辛酉日時以降閉鎖ス

光輝連絡班長

受付

11/10

第一種

光州

0287

七

直

30日 15時 40分



30

第一組

博多

軍司令官

朝副選第一號

五八軍六博長 博多 佐世保經由清州島

赴平定 九日博多 奉命

福岡出張所長

0288

至急

30. 11. 40.

30. 13. 35.

(印)

一紙

連絡班長

井邑

護朝参電一四四号

貴地鉄道輸送部支部長ニ伝ヘテシ度

十月二十日井邑発混合列車ニ佐野大尉以下

輸送

五名宛地券人若干ヲ復乗輸送せんモ既ニ釜山

ニ向ヒタルヤ 向ヒアラサレバ同輸送ハ當地米軍

ノ指令ニ依リ輸送せんモノニシテ合法的ナルニ付一般

軍隊輸送ト切り離シ速ク釜山ニ向フ如ク

配セテシ度

第一五〇師団 白宮 参考 諒

0289

五

九月

30
9
16
時

32

中

博
及

第
一
組

軍司令官

朝副電第ニ號

一三二四國ヲ善力起シ人員八五五名

元日佐世保著上陸中ナリ

福岡出張所長

0290

累多の生

平石 20 町 合
九所 3 町 合

3
第一組

軍連絡班長

光 廿

一、光廿師管区部隊一七〇〇名(家族ヲ含ム)

八一二月一日四時三十分光廿発歸還ス

輸送云、大田ニ到着セバ直ニ連絡車ヲ派遣ス

光廿軍連絡班長

終

0291

昭和二十一年九月一日大時分後付

(6)

第一組

軍參謀長

金子

十一月三日 乘船七隻ノ左ノ如シ

興安丸 仙崎向六七六四名

徳島丸 博多向二六四〇名(内軍隊護衛隊司令部)

四九聯隊・四三聯隊四三聯隊
計五三三名)

海防艦三九那博多向二五一名

輸送 計九五五五名

動員 釜山滞留司令邦人 五千名

十一月二日 乘船三隻三〇〇名

〔通電先〕 大田 京城

金子博 監務部

0292

生

一日9時30分

⑬ 某組

京成

0293

軍令部長

不電某二三四號

休暇軍人同、家族、本三日、輸送情況在如之

某列車一、二、四。令軍人一。六才以上三七三

六才未満七。計五四三

輸送 患者一七、重傷一、外水原軍人二四

六才以上六。七

某列車一五。令軍人八、才以上二九、六才未満四

計四一

以上、以、京成、仁川、地、軍人、同家族、

輸送完了

終

至急

10/31/546

軍参謀長

一六〇師連電第三七號

本四六四テリヨリ朝参電第四九四号迄
本三一日一三・三・本發ス

輸送

9

10/31/546

第 三 組

終

0294